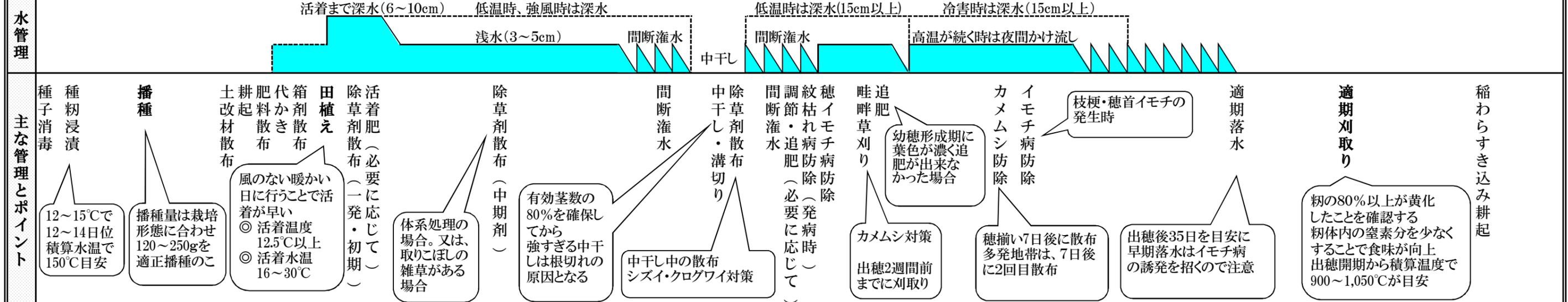


米作り栽培暦

月旬	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月																			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下																	
生育区分	(出穂からの日数) -110 -105 -100 -95 -90 -85 -80 -75 -70 -65 -60 -55 -50 -45 -40 -35 -30 -25 -20 -15 -10 -5 0 +5 +10 +15 +20 +25 +30 +35 +40 +45 +50 +55 +60 +65 +70 +75 +80																																					
	種子消毒			播種			田植え			分げつ開期			有効分げつ終止期			開花期			出穂期			乳熟期			糊熟期			黄熟期			落水期			完熟期			収穫期	
(田植えまでの日数) -35 -30 -25 -20 -15 -10 -5 0 (5月10日)																																						



月旬	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月					
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
農薬防除体系	◆種子消毒 テクリードCフロアブル(200倍/24時間) (※温湯消毒の場合は、60°Cで10分間浸漬後冷水処理の要項を厳守のこと。)			◆除草剤散布 田植直後 <初期剤>マーシェット粒(10a/3kg)・クラール粒(10a/1kg) <一発処理>カウシルコンプリート(10a/1kg) <一発処理>天空粒剤/イッポン粒剤(10a/1kg)			◆除草剤散布 <中期剤>アトカラSジャンボ(10a/20個) <中期剤>ワイドアタックD(10a/1kg) <ヒエ専用>ワンステージ・トドメ			◆紋枯れ病防除(発病時) モンカット粉DL(10a/3kg)			◆イモチ病防除 コラトップ粒(10a/1kg) (アチーブ・フジワン)			◆カメムシ防除 ダントツ粉DL(10a/3kg) (スミチオン・Mrジョーカー)			◆イモチ病防除(発生時) ブラシン粉DL(10a/3kg)			※ 除草剤の体系処理の場合は必要に応じて後期剤も活用する ※ クログワイ・シズイ対策のバサグランは落水後で幼穂形成期前に散布すること ※ カメムシ多発の場合はMrジョーカー散布 ※ イモチ病が防除後でも止まらない場合は粉剤・液剤の追加散布で確実に防除する		
	◆播種・箱土消毒 タチガレエース液(1,000倍) ダコニール1000(1,000倍)			◆箱剤散布 アイゲットハリアド粒(1箱当り/50g)			◆除草剤散布 バサグラン粒・液(中干し散布) ヒエクリーンバサグラン(10a/3kg)・シアゲ																	

肥培管理

※ 苗の育苗は、徒長させず各散布材を効率よく使用し根張りを良くする

多木有機液肥	200倍/0.50	成長促進(田植前に弁当肥としても効果大)
M O X	100倍/0.50	酸素補給(ムレ苗に50倍散布)
サ ム	1,000倍/0.50	成長促進、ミネラル補給
M P B	1,000倍/0.50	アミノ酸補給、気象ストレス対策

※ 調節肥は、稲体の強化させ耐病性、登熟、食味向上に効果有り
 ※ 穂肥は、基本的に体系施肥の場合とし、出穂25日前の施肥とする
 過剰施肥は、イモチの誘発、食味の低下をまねくので注意のこと
 特に、出穂10日前頃の追肥は、食味の低下に影響有り
 ※ 収穫後の耕起時(秋掘り)に稲わら腐植資材(豊土サングリーン)を散布
 雑草の多発田には、石灰窒素の施用も効果有り

◇ 基本施肥設計 ◇

項目	品名	1袋当り成分					10a当りの施肥量		10a当り成分量 (kg)					備考	
		窒素	燐酸	加里	苦土	珪酸	使用kg数	使用袋数	窒素	燐酸	加里	苦土	珪酸		
土作り(土壌改良材)	グリーンドレッシング	1.5	5.0		1.0		80 kg	4 袋							醗酵微生物堆肥
	スーパーミネラル				2.0	45.0	40 kg	2 袋				0.8	18.0		良質珪酸、各種ミネラル補給
元肥	宇部有機珪酸入り一発	15.0	15.0	15.0		4.2	50 kg	2.5 袋	7.5	7.5	7.5		2.1	追肥体系の場合は減肥のこと	
活着肥							kg	袋							
調節肥	マグホス		17.0		3.5		20 kg	1 袋		3.4			0.7	秋落ち倒伏防止穂数確保	
	ハイグリーン				14.0	16.0	15 kg	1 袋				2.1	2.4	登熟向上、千粒重増加	
穂肥	NK 5 4 5	15.0	4.0	15.0			(10) kg	袋	(1.5)	(0.4)	(1.5)			必要に応じて(出穂25日前頃)	
成分合計									7.5	10.9	7.5	3.6	22.5		
穂肥使用の場合									成分合計	(9.0)	(11.3)	(9.0)	3.6	22.5	

